

～川のまち広島から、子どもの森を考える～ JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2017」広島大会

<報告書>

このたびは、JP子どもの森づくり「全国集会&研修会2017」にご参加いただきありがとうございました。

無事に終了することができ、ご協力いただきました皆様、ご参加いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

短い時間ではございましたが、参加いただいた皆様に一つでも、知識となり、きっかけとなり、明日への園内活動に活かしていただけたら幸いです。

また、今回、どんぐりの絆で結ぶ“災害時協力支援協定の2例目が広島で結ばれました。

これは、全国の離れている3つの園が、どこかで被災された場合、離れていることで効率的に助け合う

関係の構築です。今後も、どんぐりの絆で全国の保育園・幼稚園・こども園が実際に結ばれることを祈ります。

来年は、福岡での開催が予定されております。

また、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

お疲れさまでした！



■募集チラシと会場紹介

～川のまち広島から、子どもの森を考える～
JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2017」広島大会
参加者募集案内



・JP子どもの森づくり運動の参加園が年に一度全国から集い、交流を深める「全国集会&研修会2017」のご案内です。2017年の開催地は広島市です。一日目の全国集会では、活動報告と同時に、幼児期の自然体験活動、及び環境学習活動としての森づくり活動のそもそもの意義について考えます。二日目の防災講座では、大きな土砂災害が発生した広島において、あらためて本当に子どもたちの命を守るための防災について考えます。今回は、地元広島の参加園有志により実行委員会が結成され、皆さんをお迎えする準備に取り組んでいただいています。皆様のご参加をお待ち申し上げます。(子森ネット 代表理事 清水英二)

●開催概要

主 催：JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会」広島大会実行委員会
 共 催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
 協 力：全国私立保育園連盟、大谷保育協会、保育環境研究所ギビングツリー 他
 特別協賛：日本郵政グループ
 日 程：2017年2月14日（火）、15日（水）
 会 場：広島市 総合福祉センター「BIGFRONTひろしま」（広島駅南口駅前）
 募集対象：保育園・幼稚園・こども園職員、保育関係団体職員、保育研究者、学生、他
 募集締切日：2017年2月4日（土）

●講師紹介

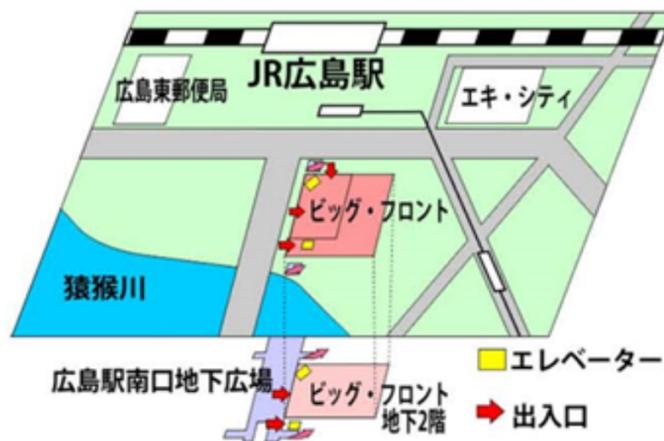
<p>【ワークショップ講座】 塚原 茂氏 チームビルディングファシリテーター NPO法人子森ネット インストラクター 子ども向け自然体験企画やキャンプ企画などで数多くの経験をもつ。</p>	<p>【基調講演】 中越 信和氏 広島大学大学院国際協力研究科 教授 景観生態学の研究と普及に専念。環境省の重要里地里山選定委員を歴任。 http://www.landscape.hiroshima-u.ac.jp</p>	<p>【防災講座】 鎌田 修広氏 (株)タフ・ジャパン代表 全国の消防学校、自治体、小中保育園、幼稚園こども園にて、直接訪れ実践的な講座を行っている。 http://www.tough-japan.com</p>
		

■広島市 総合福祉センター「BIGFRONTひろしま」

■宿泊ホテル：ホテル川島 広島駅直結

<研修会・ホテル住所> 広島県広島市南区松原町5-1

* 研修会会場とホテルは同ビル内ですが、エレベーターが違いますのでご注意ください。



■懇親会会場：京もみじ

<住所> 広島市南区的場町1-1-25 ホテルセンチュリー21 広島 11階

TEL：082-263-5531

* 道案内 *

地下道を通って9番出口（駅前大橋・的場町方面）を上がり、駅前大橋を渡る。（広島駅南口より徒歩約3分）
 路面バス 広島市内路面電車「的場町」「稲荷町」各電停から徒歩1分。



■実施概要

主 催：JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会」広島大会実行委員会

共 催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）

協 力：全国私立保育園連盟、大谷保育協会、保育環境研究所ギビングツリー他

特別協賛：日本郵政グループ

日 程：2017年2月14日（火）、15日（水）

会 場：広島市 総合福祉センター「BIGFRONTひろしま」（広島駅南口駅前）

募集対象：保育園・幼稚園・こども園職員、保育関係団体職員、保育研究者、学生他

その他、連絡事項

①宿泊は、全員シングル：全室禁煙（ホテルと研修会会場は同じ建物内です。）

②チェックイン・チェックアウトについて

*各自チェックイン・チェックアウトください。チェックイン時、朝食の説明などは、ホテルにて確認ください。

*宿泊・朝食費以外の支払も各自でお願いします。

●当日の緊急連絡先：

tel:090-4127-7771（勝目） tel:080-2033-1570（伊藤）



■スケジュール

2月14日（火）

13:00【開会式】

主催者挨拶 第二みみよう保育園 園長 松尾竜
子森ネット 代表 清水英二

13:20【問題提起】

「東日本大震災」復興の現状～山田町から～
岩手県山田町保育所・保育園職員

14:00 終了

14:10 JP子どもの森づくり運動活動報告

14:40 JP子どもの森づくり運動 広島県の活動報告

15:10【ワークショップ】

保育に役立つ自然体験プログラム
子森ネットインストラクター 塚原茂氏

16:00 終了

16:10【講演】

ブナ科植物の森と里山
広島大学大学院国際協力研究科 教授 中越信和氏

17:30 終了

18:00【懇親会】

2月15日（水）

8:40 集合

9:00【防災講座】

消防庁アドバイザー 鎌田修広氏

11:30 終了

ふりかえり

12:00 終了



JP子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2017」report

【開会式】

2017年の開催地は広島市です。今回は、地元広島の参加園有志により実行委員会が結成され、運営を担当していただきました。今回の開催テーマ「川のまち広島から、子どもの森を考える」も実行委員会からご提案いただきました。

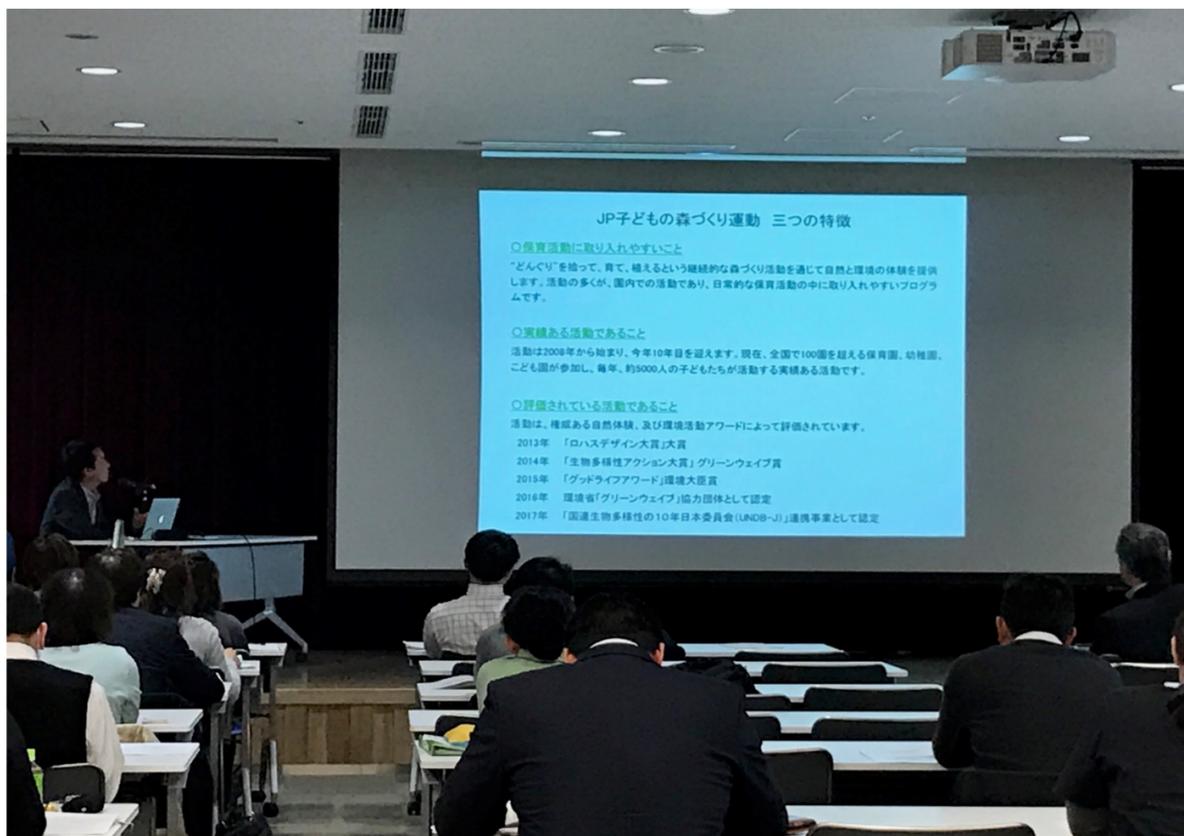


実行委員会を代表して、広島市私立保育園協会理事長の「第二みみょう保育園」松尾園長先生のご挨拶



【問題提起】

「東北復興グリーンウェイ」活動への問題提起として、「東日本大震災」復興の現状について、岩手県山田町の三つの保育園（「織笠保育園」「山田町第一保育所」「豊間根保育園」佐々木先生、湊先生、佐々木先生）合同の発表が行われました。



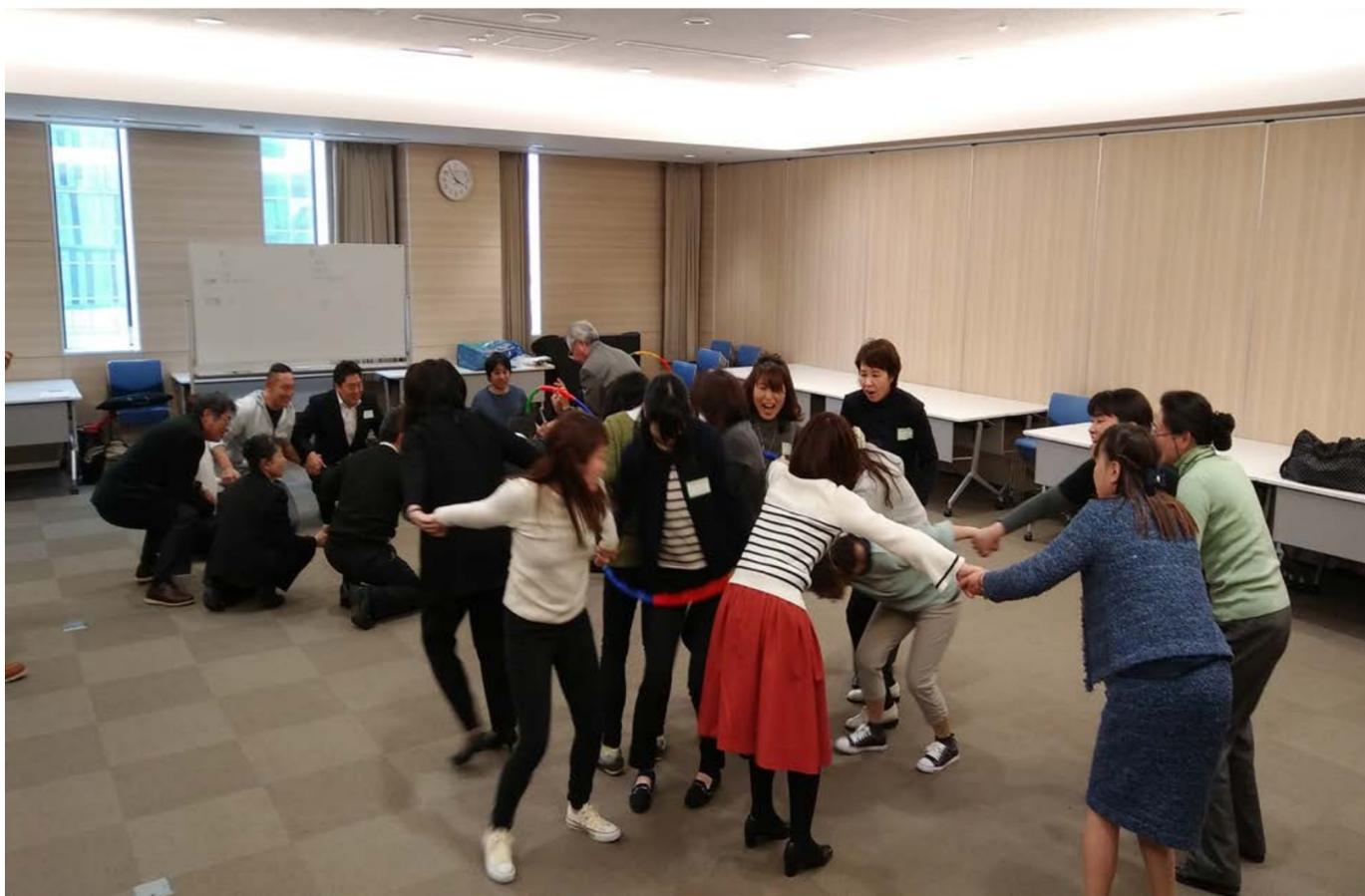
【活動報告】JP子どもの森づくり運動の全体の活動報告をする子森ネットの伊藤事務局長



【活動報告】山本まごころ保育園・（分園）春日野まごころ保育園の活動報告をする植田園長先生



【活動報告】保育所みのり愛児園・保育所みのり祇園の活動報告をする保育所みのり祇園の荒木園長先生



【ワークショップ】チームビルディングの手法を用いた、自然体験・環境学習のプログラム紹介をする、子森ネット 塚原さん



【講演】「ブナ科植物の森と里山」をテーマに講演を行っていただいた広島大学大学院 中越先生



懇親会風景



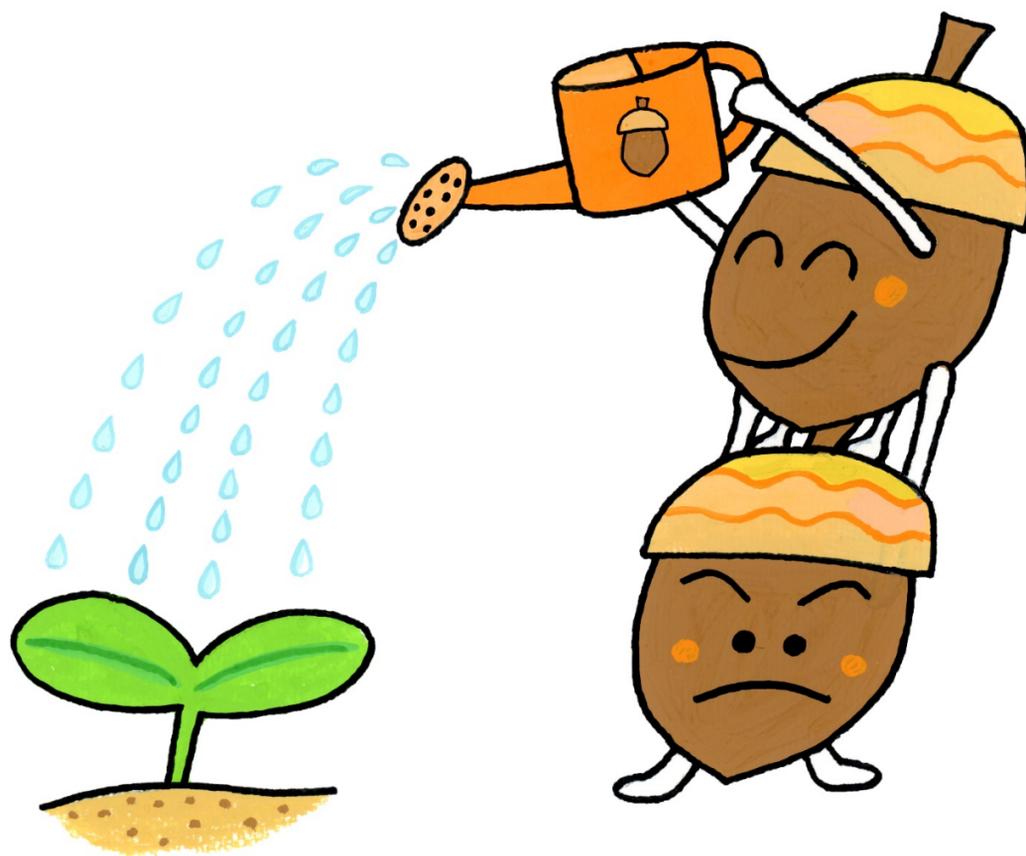
【協定締結】どんぐりの絆で災害時相互支援協力協定を下記3園で締結しました。全国で2例目です。
(岩手県) 織笠保育園、(東京都) 中目黒駅前保育園、(広島県) 保育所みのり愛児園



【防災講座】鎌田講師による防災講座



2日目朝に撮影した、記念写真（初日のみの参加の方、ごめんなさい。）



JP子どもの森づくり運動 全国集会 & 研修会アンケート集計結果

(全コメント掲載)

<東日本大震災 復興の現状～山田町から～>

* 実際に被害にあわれた先生方の話を聞き、自分の身に置き換えると防災意識の低さを思い知らされました。どんぐりの活動を通して、復興に向け、立ち向かってこられ、これからも継続していこうとされる姿に感動しました。そして、自分もできることからやってみようと思いました。

* 実体験を主に話をされ、復興に向けての情熱を感じた。東北の方々とのつながりを大切にしていきたいと思う。

* 東日本大震災を実際に経験された先生方からのお話は心に響きました。災害時の支援として何が大切なのか、災害時の保育園の役割についてお話が心に残ります。

* 被災の体験を語られ、東北のこと、震災のこと、防災について、改めて考える機会になりました、もっと話を聞いてみたい。そして備えていきたい。また、東北の復興になにができるのかと思うことができました。その中で東北復興グリーンウェイブの持つ意味を考えて子どもたちと共に、取り組んでいきたいと思えます。

* 東北復興GWの方向性がより明確になった

* TVなどで見聞きしたことがあったが、実際に話を直接聞いたことがなかったので改めて震災の怖さを感じると共に、復興への歩みを進めていかねばならないと強く思った。

* 現状を知ることができた。

* 大震災を受け、そのあとの復興において防災の取り組みが多く取り入れられ、素晴らしい取り組みと思えます。

* 山田町の写真からあの状態から現在の状態まで三心会の先生方やたくさんの方々の努力で町が復興できていく様子がよくわかって感動した。

* 常に防災意識を強く持ち、行動を起こすことができるように準備、心構えをすることが大切だと感じた。

* まだまだ大変な状況なのにこうやって私共に伝えていただくのはありがたいです。

* 昨年、山田町を訪問させていただき、現状を目の当たりにしていろいろ考えさせられました。復興グリーンウェイブでのどんぐりの活動を通して、これからもつながっていけたらと思います。

* 子どもたちのどんぐりがつながっている山田町の先生方とお会いし、直接お話しできたご縁に感謝いたしました。保育園の機能を生かし、復興そして今後につなげておられる姿に感銘を受けました。

* 実際に被災された方の話を聴き、どんなにか大変な思いをされたことだろうと自分のことのように感じました。映像があるともっとわかりやすかったです。

* 被災地した方の話を直接聞いて良かったです。

* 震災のご苦労を改めて感じ、日本は今変動が多いので、助け合うことの大切さ、また、誰でも使えるマニュアル作りを考えなければと思いました。29年度はどんぐりを子ども達と植えて再生の森づくりにお役に立てるようになればと思います。

* この活動を続けていくことで山田町の子どもたちからの手紙など生の声、感想をきき、それを子ども達に伝えていけることがステキなことだと感じました。子どもたちに震災のことを伝えるだけでなく、育てることで命の大切さなども伝えていけたらと思いました。

* 震災の起こった地域のリアルな話を聴けて勉強になりました。

<活動報告（全国・広島県）>

- * 全国の方、広島県の方々からたくさん支援、応援をいただいてこのような“つながり”ができたことの喜びを実感することができました。また、子ども達がどんぐりを大切に育ててくれている様子も知ることができ、私たちも更に大切に育てていなくて・・・と感じました。
- * 田園のようにどんぐりをしっかり育てられるように頑張りたいと思いました。
- * 子どもたちと植えるだけでなく毎日の世話、続けるということから興味をもち活動していけるように工夫していきたいと感じた。3～4年たち大きく育ったのが芽に見て感動を味わっていた園の取り組みをぜひまねさせていただきたと感じました。
- * とても素晴らしい話でした。後に続きたいと思います。
- * 各園のやり方の違いが聞けてよかったです。
- * 私たちが手にしたどんぐりのおいたちがわかってとてもよかったです。
- * 写真を見ながら、どのような思いで子どもたちがどんぐりを育てているのかがわかりました。さらに広がりを感じることができてよかったです。
- * 自園で活動しているにも関わらずあまり重点的に考えていなかったですが、約10年、活動をしてきていることの素晴らしさと、このことを続けて行かなくていけないことを思いました。次世代のために。
- * 森づくりを地域で実践していることは素晴らしいです。私たちも東北支援はやっています。JPとも協力体制が取れるようになりました。
- * 自然やどんぐり（植物）を通して、人と人とのふれあいを作り広げていく活動に共感しました。
- * 全国で、広島で、子ども達の活動を通して本当にいい体験教育をしていると思う。グリーンウェイブと全国の子どもたちの輪が広がっていった中に自分も関わっていると思うことがうれしいし、頑張っていきたい。
- * 長年に渡り活動を続けられてる保育園の報告事例はとても役立つものだと思います。素晴らしい活動報告でした。
- * 自分達が取り組み始めた活動が次にどうなるのかを見せていただけてとてもわかりやすかったです。
- * 方法のヒントが与えられた。
- * どんぐりがつなぐこの活動が今後も全国へ子ども達のえがおと共に広がっていく事を期待しています。とても子どもたちの笑顔が素敵でした。
- * 子森ネットの基本的課題を改めて確認できた。
- * 田園での活動内容を通して、同じような課題を感じていることや、丁寧に活動を進めていることを知り、これからの活動に活かしていきたいと思います。
子どもの森づくり運動の全体像を再認識して、自園のやっていることの活動の意識を感じることができてよかったです。
- * 全国における子どもの森づくり運動の活動についてよくわかりました。子の活動に参加する園が増えるとよいと思いました。広島県の報告については、自園の報告もあったので振り返ることができた。今後も活動を続けていく事の大切さを感じました。
- * どんぐりの活動を通して、全国の方々とつながっている気がした。
大人も子どもも活動より自然の恵みに感謝し豊かな感性を養い命の大切さを学んだと思う。
- * 自園の発表でしたが、改めて、どんぐりを通じて日本中の方とつながれる喜びを感じました。

<ワークショップ>

* 自分がいかに自己中心的な人間なのか思い知らされ、どんな場面でもチームワークの大切である。それが「職場でのよりよい人間関係づくりにつながると感じました。力を合わせることで防災に欠かせないことも知りました。

* チームとして役割、行動を考えさせられました。自然の中での自由な発想の受け入れを十分に行っていききたい。

* フープを使った実践では目標を達成しようと仲間と力を合わせたり、一緒に考えたりしながら挑戦する楽しさを味わえました。

* 自然体験プログラムの取り組み。当園でも学んで実践していききたいです。

チームビルディングについて関心を持ち、職員間のチームワークや保育に活かしていききたいです。

* 保育に役立シリーズを続けてほしい。

* チームビルディングがとても面白かった。チームワークの大切さを学んだ。

* チームビルディングの「フープ」の実践がすごく楽しかったです。保育にもすぐに使えそうなのでやってみたいです。

* 毎回楽しいプログラムです。

* フープを使ってとても楽しいプログラムで、帰って職員たちとやってみようと思う。チームビルディングはお互いの意識や他人への思いやりがないと難しいことが分かった。

* 実技が大変楽しかったです。

都会の森のない場所で育ったのですが、子どもも大人も自然に触れあうことはとても大切だと実感しました。

* チームで競い合うということは、何かやる気が起こるものでこの方法を保育にも活動できたらと思います。

* 短い時間でしたが、互いに行動、気持ちに寄り添いながら、また話し合いながら進めて行かないといけないということをフープを使っての遊びの中で体験できました。職員や保育者の方とも実践してみようと思います。

* とても、楽しく参加できました。自然の中での発見を生かせるワークショップは保育に取り入れ子どもたちと共に互換性を広げていきたいと感じました。そして何よりチームの大切さ、個の意識改革を園でも生かして職員や保育を向上してまいりたいと思います。

* 楽しく学ばせていただきました。

* いつも子どもたちが使っているフラフープを10人くらいの大人が必死になり考え、人の考えを聞き思いを一つにしていくことの楽しさを楽しみました。

* 実技もあり、参加者の皆さんとの交流もできました。色探しなども保育にも取りやすいなと思いました。

* 初めての人たちとでしたが、とっても面白かったです。園に持ち帰ります。

* 非常にもりあがり、職員でやりたいと思います。

* 金曜日の会議前のアイスブレイクで早速させていただきます（フラフープ）

保育の中での散歩の取り組み自然への関心も大人（保育士）も深めたいと思いました。

* 短い時間でもあれだけ人のことを考え、一緒に楽しめる、とても楽しい時間でした。もっとたくさんやりたかったです。

* とても楽しく動けました。

* いかに自分本位で行動しているか、また流されるままに動いてしまっているか・・・を身にしみ感じました。園に帰ってナゾを解きたいと思います！頭を柔らかくして・・・

<講演（ブナ科植物の森と里山）>

- * とても興味深い話ばかりでした。さらに理解を深めて、子どもたちにも伝えていきたいと思います。
- * 専門的な話で難しかったです。
- * 少し難しかったです。知識を少しでも子どもたちにわかりやすく伝え緑（自然）の大切を伝えていきたい。
- * 分野の違う話のようで、実は自然と共存する人として考えなければならないことだと感じました。「何事も基礎を学ぶことは大切」を言われた先生の言葉が残りました。
- * 専門的な話を久々にきけ、楽しく学べました。
- * 詳しい話も楽しく聞けました。
ありがとうございました。
- * 詳しく話を聞く機会もないので、貴重なお話を聞いて良かったです。
- * ブナ森林の大切さはわかりました（？）子どもたちにも木の大切さを教えていきたいと思いました。何よりも先生が楽しそうに話をされるのが良かったです。
- * 勉強になりました。
- * 少し専門的見解からのお話は難しかったです。里山伝授へ向けて必要な学びも大切にしていきたいと感じました。
- * 中越先生の専門的なお話で、まずは基本的なことを知ることが大事なんだということを実感しました。一番伝えてほしいとおっしゃっていた「植物は酸素をだしている！」ということ。いろんな形で子どもたちの自然体験の中で伝えて行けたらいいと思っています。もののけ姫をもう一度見てみようと思います。
- * 一見難しく感じましたが、よく理屈が分かったように感じます。子ども達には、「植物は酸素を作っている」ということを大きな声で伝えていこうと思います。
- * ブナのことがよく理解できました。こういう機械がないとなかなか知識を得ることができないのでよかったです。
- * 専門的な知識として、ブナ科の森のことがわかった。里山にはブナはなく、ナラやコナラを考えたほうがいいということが分かって自園でも取り組もうと思う。
- * 森と里山の違いや今後の取り組みにおいて、大切な要点とアドバイスをいただいたのは心強い。
- * 自分の周囲の森林が一体何の樹木なのかほとんど知らなかったのも、今回の研修をきっかけにまずは、知っていこうと思いました。
- * アカデミックな講演で大変おもしろかった。
- * 内容が専門的なところもあり難しかったです。植物が酸素を作り出していることは、小さな子にも教えて緑を大切にしていきたいと思います。
- * ブナの森と里山の違いを知り、森のこと、木のことを知ることで自分達の森づくりを深く考えていく機会になりました。
- * ブナ科植物の専門的に知識について学ぶことができよかったです。今後の子どもの森づくり運動の活動に活かせたらと思います。
- * 自然の中でとよく口にするが、くり、どんぐり、ブナ科などの知識がないまま伝えていることがよくわかった。正しい知識の上で子どもたちに伝えていきたい。
- * 難しいお話もありましたが、自然を大切にすることが命を守り、命をつないでいくことと大きく関わっていることがわかりました。

<防災講座>

- * 自園でも防災について意識を高めているつもりではありますが、まだまだ未熟です。“感情のないルールを決める”私に課題です。
- * 危機管理として、現在も防災について地域で考えて行動しているが意識が高まり、これからも保育園としてできることを考えていきたい。171番ははじめてつかわせてもらったので、これからどんどん練習して身につけたい。
- * 災害心理のお話。感情の入らないタイムラインのお話が心に残ります。災害心理に勝った方法は24H継続してできることを実践、行動することなのか自分もなかなかできないことなので、努力していきたいと思いました。今日の研修で園ですぐできる防災対策も学べたので、すぐ実践したいと思います。
- * 今回は明確な数値化、目標を定めること、意識を高めて日々の行動に落としこんでいくことの大切さを知り、自園で組み、まわりに伝え、協力して防災に取り組んでいきたいと思います。
- * 防災講習などを受けると何かをしなくては・・と思い、毎回時間がたつと何もしなかつたりしてしまうのですが、今回こそは行動に移して継続していこうと思いました。
- * 毎回新たな気づきをいただける講座です。
- * 毎日の心がけの大切さ、意識の仕方でも生命が守られることをわかりやすく教えていただきました。今日からすぐできることがあった。行動に起こそう！と思う一人から3人、グループからチームへ拡充していきたいと意欲の湧く講座でした。
- * 二日目から参加させていただきました。目標を数値化するという考えに初めて触れ大変参考になりました。ありがとうございました。
- * 役に立つ内容だった。
- * 今日から早速とりくみたいことが沢山できました。セーフティゾーン、171の体験、参観日の保護者の方に知ってほしいと思います。少しづつ皆（周囲）に伝えていきたいです。
- * 沢山の気づきをいただき、たいへんいい時間となりました。ありがとうございました。今日、学んだ事を実践して継続していきたいと思います。まずは、災害心理に勝つ為の5項目からスタートします。
- * 防災面において、毎回勉強させていただいています。今後の防災に役立てていくつもりです。
- * 鎌田先生はいつも楽しく、今回の防災カルタの修造ルールをよかった。防災意識をいかにして保つか、タイムラインの確認など「備え」の大切さを「数値」にして目的を明確にすることの大切さを改めて感じた。
- * 先延ばし心理ではいけない、常に防災や死を意識した行動をとるよう準備をすることが大切であると実感した。
- * 実践が入ったお話は説得力がありよく理解できました。たえず、繰り返し実践することが大切だと感じました。力をいただきました。
- * 今回の鎌田先生のお話は6回目になりましたが、毎回く返し聞くということで、そのことが自分自身への訓練になります。又、それを園に持ち帰り今年、これを取り入れようと実践できるので、研修に参加してよかったと思います。園でも保護者を3人ずつのグループを作り互いのメールなど交換しリーダーを一人ずつつくり避難訓練の時などその協定を活用していきます。
- * 多くの情報を得ること「知識」をどう生かして使うかが「知識」だと思いました。
- * 子ども達を守ることを大事に考えていくことを職員と一緒に行っていきたいと思います。
- * 避難訓練を毎月行って安心ではなく職員で、各クラスの避難場所、こんな時はどうする？など取り決めて行動に移せるよう改めたいと思う。訓練をしていく中でのポイント、重要性等が職員と同じ意識を持つためになにが必要かもっと学びたいと思いました。
- * 形が決まった避難訓練を繰り返すことだけでした。自分の地域のタイムラインが作成されているか調べてみる。保育室のセーフティゾーンを保育士全員で考え、意識づける、そして子ども達に伝えていく。365日24H防災意識を持つためには、防災を考えるとまだまだ保育士としてやるべきことがたくさんある事を実感しました。そして、園で防災について話し合う事が楽しみになりました。ありがとうございました。
- * 知識だけでなく、自身の大切な者を守るため自身で動くこと園が動くことの学びが深まりました。職員へつなげてまいります。また、お話を聞かせていただきたいです。
- * 安全安心な地域づくりを防災減災、防災、福祉などの面で平素の近所とのつながりが大切と確認できました、備えと初動など地域の方に伝えられるよう整理したい。このような機会にもう一度参加したい。ありがとうございました。
- * 土砂災害、洪水が起こり得る安全面を川内なので、自分のこととして聴きました。又、保育士として“子どもの命を守る”を念頭に訓練も本気でいつも防災意識を持たなくてはならないと思いました。

<全体への感想/意見など>

- * 楽しいばかりの研修ではなく、子どもたちの自然体験が将来「防災」や「命を守ること」につながるということがわかりました。ありがとうございました。
- * 自然、防災とつながっている知識を伝え、命を守り、守られながら生きるこの研修のお延に感謝しています。
- * H20年から子どもの森づくり運動に参加していましたが、今回の研修を通して改めて、参加できていることをありがたく感じましたし、今後も子ども達、職員に伝えつなげていくことの大切さも感じました。本当にありがとうございました。
- * 子どもの森づくりをしていることの全体像としているの意味を深めることができているいい研修でした。研修を通して、人とのつながりを感じられてとてもよかったです。自然の大切さ、防災、命の大切さ、人とのつながりいろいろなことを深める研修でした。ありがとうございました。
- * どの内容も聞いていて、とても勉強になり、とても楽しく学べた、また次回もあれば参加させていただきたいと思いました。2日間ありがとうございました。
- * 全体の流れもつかめてとてもよい時間でした。ありがとうございました。
- * たくさんの方々と出会い、お互いに悩みを持ちながら、前向きに進んでいる話を聞き力をいただきました。また、参加したいです。これからもよろしくお願い申し上げます。
- * 2日間ありがとうございました。自然の専門的なお話や防災の鎌田先生のお話は是非毎年聞く機会があることを望みます。又、なにかお手伝いできることがありましたら、何か言ってください。
- * 自分や身内、知人がたまたま災害にあってなかったのは、ありがたい事だと心から思います。でも、あわなかった事で危機意識がひくっていた事も今回参加させていただいてわかりました。
- * やはり、東北実施園、どんぐりの生育の様子、子ども達の様子を交換できる場（動画やテレビ電話など）があればつながりとなり未来への子ども達の心の育ちになると思います。
- * また、防災の研修を行って欲しいと思いました。
- * 現場での取り組み状況や様々な知見を得ることができました。大変参考になりました。ありがとうございました。
- * もう少し郵便局として何ができるか、参加者を増やそうと思います。
- * 実際に活動の内容を見て聞いて知ることができ、とっても良い機会となりました。園に持ち帰ってしっかり伝えようと思います。ありがとうございました。
- * ワークショップのような体験できることをもっとやって頂きたいです。ありがとうございます。
- * 参加者みんなで何かをすることがとてもよかったです。
- * いつもこの研修会を楽しみにして参加させてもらっています。来年は10周年で大変期待しています。よろしくお願いします。
- * 色々ありがとうございました。